

永田町絵図



(請求番号：654-02-01-05) 東京都公文書館所蔵

国会議事堂や最高裁判所、霞ヶ関の官庁街が建ち並ぶ永田町一帯も、江戸時代の大木屋敷・旗本屋敷の跡地を利用していることがわかります。広島藩主松平安芸守の上屋敷・中屋敷が隣接していますが、この内左下側の中屋敷が現在の国会議事堂用地になっています。

また、図の左下、四谷御門と赤坂御門の間には、紀州徳川家・尾張徳川家・彦根藩井伊家の広大な屋敷が広がっています。明治5年(1872)、この3家の1字ずつを取って、麴町紀尾井町が成立していきました。